

○水生生物モニタリング調査結果一覧（真野川D）

<真野川D 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
D-4 a	○	○	○	○	○	○

<真野川D 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
D-4 a	37.7308°	140.9081°	H29.12.5	09:56	10:03	8.5	8.3	砂	2.5Y4/2	植物片少々	0.35	>50

<真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
D-4 a	37.7308°	140.9081°	H29.12.5	09:56	7.1	0.5	2.1	11.9	9.1	0.05	1.0	<1	0.6	N.D. (0.0012)	0.0096	0.0012

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)			
D-4 a	37.7308°	140.9081°	H29.12.5	10:03	7.6	338	19.8	1.4	1.7	2.728	20.0	38.9	35.6	3.6	1.9	1.0	9.5	38	330	0.69

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
D-3	真野川本流	37.7051°	140.9623°	H29.12.6	節足動物	軟甲	エビ [*]	アメリカザリガニ [*]	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	1	0.022	成体	—	—	13	N.D. (2.6)	13	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ [*]	ウナギ [*]	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.033	未成魚	不明消化物	内臓除去	15.8	1.8	14	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ [*]	カサガ [*]	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	5	0.073	未成魚	ヌカエビ [*]	内臓除去	9.7	1.7	8.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.010	未成魚	—	—	11	N.D. (4.8)	11	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	7	0.14	未成魚	ヌカエビ [*] 、藻類	内臓除去	7.57	0.77	6.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudorasbora parva</i>	モツゴ	5	0.013	成魚	—	—	8.1	N.D. (2.6)	8.1	—	
					脊椎動物	両生	無尾	フカクエル [*]	<i>Rana catesbeiana</i>	ウシガエル	60	0.38	幼生 (オタマシ [*] ヤシ)	—	—	112	12	100	—	
D-4b	真野川本流	37.7312°	140.9096°	H29.12.5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.018	—	—	—	147	17	130	—	
				H29.12.6	藻類・植物	単子葉植物	イネ	イネ	<i>Phragmites australis</i>	ヨシ	—	0.11	—	—	—	—	16.8	1.8	15	—
				H29.12.5	節足動物	昆虫	カゲロウ [*]	チラカゲロウ [*]	<i>Isonychia japonica</i>	チラカゲロウ	282	0.012	幼虫	—	—	81.3	7.3	74	—	
					節足動物	昆虫	カゲロウ [*]	モンカゲロウ [*]	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ										
					節足動物	昆虫	カゲロウ [*]	モンカゲロウ [*]	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ										
					節足動物	昆虫	カワゲラ [*]	カワゲラ [*]	<i>Kamimuria uenoi</i>	ウエノカワゲラ	179	0.011	幼虫	—	—	3.6	N.D. (4.1)	3.6	—	
					節足動物	昆虫	カワゲラ [*]	カワゲラ [*]	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ										
					節足動物	昆虫	カワゲラ [*]	カワゲラ [*]	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ										
					節足動物	昆虫	カワゲラ [*]	カワゲラ [*]	<i>Neoperla sp.</i>	フタツメカワゲラ属										
				節足動物	昆虫	カワゲラ [*]	カワゲラ [*]	<i>Niponiella limbataella Klapalek</i>	ヤマトカワゲラ	163	0.045	幼虫	—	—	50.9	5.9	45	—		
				節足動物	昆虫	トビケラ [*]	ヒゲナガカワトビケラ [*]	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ											
				節足動物	軟甲	エビ [*]	モクスガニ [*]	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	4	0.12	未成体	—	—	36.5	3.5	33	—		
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	14	0.16	未成魚	—	—	14.2	2.2	12	—		
				脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.037	未成魚	ヒゲナガカワトビケラ [*]	内臓除去	8.0	1.2	6.8	—		
				脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ [*]	<i>Rhinogobius sp. CB</i>	シマヨシノボリ	30	0.027	未成魚/成魚	—	—	15.0	2.0	13	—		
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ [*]	<i>Rhinogobius kurodai</i>	トウヨシノボリ															

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。